

市全体に対しての公共施設の考え方（公共施設で大切なこと、将来の使い方）

Aグループ

【あらゆる世代が支え合い交流する公共施設】

- ・結婚、出産、子育て支援を3本軸に考える
- ・「子育ては日高で」を定評にする
- ・自然環境を活かした、柔軟に利用できる子育て施設をつくる
- ・6地区の公共施設は孤立的な運用であり、ネットワークづくりが必要

【多様な主体が参画できる公共施設】

- ・施設、行政、企業が連動・提携
- ・施設管理者、施設利用者、地域住民の3者が継続した協議会を発足
- ・利用者と管理者が話し合える場の設定

【日高が潤う観光施設をつくり、育む】

- ・観光客からの収益向上で雇用を創出
- ・ビジターセンターを設立する
- ・エリア全体をエコパーク化する
- ・時代にのっつたイベントをつくっていく

【使いやすく、非常時でも利用できる施設】

- ・誰もが使える、車いすでも使える施設
- ・災害時のサポートセンター

Bグループ

【コミュニティの中心となる公共施設】

- ・誰でも安心して利用できる施設にする
- ・高齢者の安否確認、地域住民が知り合う機会をサポートできる施設にする
- ・高齢者から赤ちゃんまで、いつでも利用できる施設にする(シニアサロンや子育て支援)
- ・身近な施設である公会堂、自治会館を誰でも利用できるように

【まちづくりの視点で公共施設を考えることが必要】

- ・再編、最適化を進めるには住民の理解が不可欠
- ・各地区のネットワーク化を図ることを前提に、一大公共施設の集合地があってもよい
- ・将来を見据えると維持費の縮減は不可欠、統合も視野に入れるべき

【地域の特徴を活かした公共施設】

- ・小中学校、保育所は地区ごとに縦で一体化が可能であるが、地区での統合(横の一体化)は抵抗が大きい
- ・各地域ごとの公共施設格差が存在する
- ・利用者による施設規模の再考は必要
- ・高麗、武蔵台の小中学校空き教室の活用
- ・グラウンドやプールなど重複施設の統合

Cグループ

【日高が潤う観光施設をつくり、育む】

- ・売上を出すことで更なる発展を図る
- ・日高市を中継拠点に
- ・リピーターの確保
- ・移住者の増加(魅力)
- ・高麗古民家と民族資料館の統合

【情報格差の解消が必要】

- ・年代別にやり方、紹介方法をかえる
- ・施設の使い方、案内(動画提供)
- ・公共施設の位置図と紹介案内をつくる
- ・IT革命が進めば公民館の統一、コンパクトに!
- ・スマホで公民館予約ができるように
- ・避難場所間の情報交換

【行政サービスの在り方】

- ・行政のやることに対して住民が協力すること
- ・行政もサービス精神を!
- ・(図書館など)各施設とのネットワーク化
- ・地区毎に小さな拠点づくりを
- ・大切な施設はつくるべき
- ・社会基盤はもうよい(市の支出を少なく)
- ・教育できる施設、ソフトを!
- ・夜間緊急対応、移送サービス

Dグループ

【日高が潤う観光施設づくり】

- ・観光資源のブランディング化(景観は宝もの)
- ・遠足の聖地をさらに進める
- ・巾着田への来訪者が日高で買い物をするなど、稼げる施設にする
- ・BBQを資源と考え、企業と連携して進める
- ・歴史観光、歴史公園、休憩所の新設など

【地域の特徴を活かした公共施設】

- ・自分たちのアイデンティティを知ることが大切
- ・市内を3ヶ所に分けて、集中と選択
- ・小中公民館の地域別統合
- ・空き教室又は公民館を多様化
- ・日高市が先進事例となるような、自動運転の巡回バス

【情報の可視化】

- ・施設の利用状況や人口動向、交通、地形等
- ・住民同士がネットでつながる環境

【新規利用と再利用】

- ・地球にもお金にもエコ
- ・公民連携と、市内企業の増加
- ・ソフトにダウサイジング

再編・最適化のため考え方(及び、その理由)、または具体的な提案

① 行政系施設【庁舎・出張所】、【消防・防災施設】

② 学校教育系施設【小学校】、【中学校】、【教育センター】、【給食センター】

③ 子育て支援施設

④ 保健福祉施設

⑤ 市民文化系施設

⑥ スポーツ・レクリエーション施設

⑦ 公営住宅

⑧ 産業系施設

⑨ 供給処理施設

⑩ その他

- ・地域内で地区をまたいだ統合・連携は可能だが、地域をまたいだ統合は難しい。
- ・学童・相談機能を併設するなど、教育施設数を減らす。小学校を多機能施設にする。
- ・小学校は6地区に必要だが、中学校は統廃合を行い、近隣地区にあればよい。中学生は自転車通学が可能である。
- ・保育所は毎日使う施設だから、自分の居住地区内の利便性のよい場所にほしい。また、学童保育室や児童ふれあいセンターと併設。
- ・学童を保育所、もしくは小学校に併設する。機能は各地区に必要、近くにあることが大事。
- ・保健福祉施設は市にひとつあれば良いが、テレビ会議ができるようにして、窓口は公民館や出張所に設置したい。
- ・共働き家庭が増える中、柔軟な利用のためには、場合によっては民間の力を借りる必要がある。
- ・公民館はコミュニティの基本であり、今後も6地区に一つ必要な拠点である。
- ・テレビ会議ができるようにして、遠方施設と結び、公民館や出張所でも、福祉や子育ての相談ができるようにしたい。
- ・地区に作れない施設は、機能をつなげばよい。
- ・市民プールは小中学校のプールをうまく活用する方法もある。将来的な活用は難しいのではないか。
- ・スポーツ施設は現状のままでも良いが、地域広域連携での施設の在り方を考えても良いのではないか。
- ・市営住宅は行政の基本機能であり、公共性が高いが、箱物で持つ必要はない。民間企業をうまく使い、補助金などのサービスに移行すればよい。
- ・市の持ち物ではないが、自治会館との連携でもっと便利になると考える。